

令和5年度 当初予算と主要事業

I 予算規模

総額

381億8,227万2千円（対前年度比15%増）

※過去最大の予算規模

一般会計 222億3,000万円（対前年度比17.5%増）
特別会計 78億4,523万2千円（対前年度比0.3%増）
公営企業 81億704万円（対前年度比25.6%増）

II 令和5年度予算[新規・拡充]事業

◆”市民総参加”によるまちづくりを目指して

人口減少社会における小千谷市の10年後、20年後のあるべき姿を展望し、人・産業・子育て・安全安心・にぎわい創出など、さらなる飛躍につながる施策に重点的に投資することにより、誰もが輝く市民総参加のまちづくりを進めます。

■6つの基本目標達成のために(第五次小千谷市総合計画後期基本計画)

①人を育み文化の香るまちづくり(教育・文化・スポーツ)

- | | | |
|----|--|-----------|
| 拡充 | ・ 小・中学校施設整備事業 ⑩-14
小千谷中学校校舎の長寿命化改良工事など、小・中学校の校舎等の維持改修工事を実施します。 | 8億7,450万円 |
| 新規 | ・ 特別支援教育指導主事配置事業 ⑩-3
特別な支援を必要とする児童生徒の就学先決定などのため、専門的知識を持つ指導主事を配置します。 | 165万円 |
| 拡充 | ・ 地域資源と舞台芸術を活用した文化振興事業 ⑩-26
歴史文化と舞台芸術の融合による文化活動を行う市民団体の活動を支援します。 | 50万円 |
| 新規 | ・ 部活動地域移行対策事業 ⑩-36
中学校部活動の地域移行に取り組むスポーツ団体を支援します。 | 30万円 |

②子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり(福祉、健康、医療)

- | | | |
|----|---|-----------|
| 拡充 | ・ 子ども医療費助成事業 ④-29
0歳から高校卒業までの子どもの入院・通院費の自己負担を無償化します。 | 9,215万円 |
| 新規 | ・ 放課後児童健全育成事業 多子世帯支援事業 ③-29
放課後児童クラブを利用する多子世帯の負担軽減のため、利用料を軽減します。 | 250万円 |
| 新規 | ・ 認定こども園施設整備事業 ③-26
子育て環境の充実のため、私立認定こども園が行う施設整備工事費に対して助成します。 | 3億9,200万円 |
| 新規 | ・ 出産・子育て応援交付金事業 ④-30
妊婦及び出産後の子育て家庭の負担軽減のため、最大10万円を交付します。 | 2,200万円 |
| 新規 | ・ 公的病院医師等確保対策事業 ④-9
小千谷総合病院の医師等確保のため、募集や外部医師の応援診療に係る費用を支援します。 | 3,000万円 |

③創造性と活力あふれる産業のまちづくり(産業)

- | | | |
|----|---|----------|
| 拡充 | ・ U・Iターン就職推進事業 ⑤-1
地元企業に関する情報を提供し、高校生や大学生等の市内への就職を促進します。 | 1,272 万円 |
| 拡充 | ・ テレワークステーションおぢや関連事業 ⑦-23、24
テレワークステーションおぢやを活用して、進出企業の定着と地域産業の活性化を支援します。 | 3,225 万円 |
| 新規 | ・ 国魚錦鯉PR事業 ⑥-20、21
G7新潟サミットや各国大使館との交流を通じ「国魚」錦鯉の魅力を発信します。 | 248 万円 |
| 新規 | ・ 農産物販路開拓支援事業 ⑥-5
農業者によるECサイトの新規開設や販売促進イベント出店等に係る費用を助成します。 | 40 万円 |

④魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり(都市基盤)

- | | | |
|----|--|-------------|
| 拡充 | ・ 図書館等複合施設整備事業 ⑧-21
令和6年度のオープンに向けて、建物の建設工事とともに運営準備を進めます。 | 23億9,117 万円 |
| 新規 | ・ 移動等円滑化マスタープラン策定事業 ②-21
小千谷駅や駅周辺のバリアフリー化計画を策定します。 | 620 万円 |
| 新規 | ・ 信濃川遊歩道環境整備事業 ⑧-19
信濃川左岸の遊歩道に花壇を整備します。 | 2,600 万円 |
| 拡充 | ・ 市街地公衆無線LAN活用事業 ②-3
小千谷駅前や本町～平成にかけて整備した公衆無線LANを活用し、関連イベントを開催します。 | 289 万円 |

⑤自然を活かした調和と安心のまちづくり(防災、環境、克雪)

- | | | |
|----|--|----------|
| 拡充 | ・ (仮称)防災センター整備事業 ⑨-16
防災公園内に物資の集配機能など災害対応の拠点となる施設を整備します。 | 9,047 万円 |
| 新規 | ・ 公共施設等太陽光発電設備導入可能性調査事業 ④-34
公共施設への太陽光発電設備の導入可能性を調査します。 | 1,000 万円 |
| 拡充 | ・ 小型除雪機購入支援事業 ⑧-2
町内会等が購入する小型除雪機の購入費用を助成します。 | 720 万円 |
| 新規 | ・ 消防団員確保対策事業 ⑨-3
消防団員の確保を図るとともにその活動を支援するため、報酬を増額します。(増額分:980万円) | 4,258 万円 |

⑥ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり(交流、市民参加)

- | | | |
|----|--|--------|
| 新規 | ・ おぢや故郷BOX送付事業 ⑤-5
民間企業と連携し、市外に住む市内出身の学生に小千谷産品を年2回送付し、地元への愛着を醸成します。 | 600 万円 |
| 新規 | ・ 空き家利活用支援事業 ②-17
県外からの移住者や子育て世帯を対象に、空き家の改修費を助成します。 | 500 万円 |

○第五次小千谷市総合計画推進のために

ふるさと納税制度の有効活用と行政改革によるサービス向上・業務効率化を推進します。

- | | | |
|----|--|------------|
| 拡充 | ・ ふるさと納税推進事業 ②-12
寄附額6億5,000万円を目指し、ふるさと納税による小千谷産品のPRを推進します。 | 3億4,122 万円 |
| 新規 | ・ 電子入札システム導入事業 ②-10
参加企業の負担軽減と業務効率化のため、建設工事などの電子入札システムを導入します。 | 693 万円 |

III 「市民総参加」で取り組む重点政策

10年後、20年後のまちのさらなる発展を実現するためには、小千谷市に関わるあらゆる人たちが連携してまちづくりに取り組むことが重要です。

市民や企業、関係団体と行政がそれぞれの得意分野を活かしつつ、未来のために意見を交わし、共に汗をかきながら、「市民総参加」で重点政策に挑戦していきます。

①子育て支援策の拡充

- ・子ども医療費や妊産婦医療費の無償化、出産・子育て応援交付金の支給、放課後児童クラブを利用する多子世帯の利用料軽減などにより、子育てにかかる経済的な負担を軽減します。
- ・子育て世代の皆さんの意見をもとに、市民や企業などと連携して子育てしやすい環境の整備を進めます。



■関連事業

- ・子ども医療費無償化 930万円
- ・出産・子育て応援交付金 2,200万円
- ・放課後児童クラブ運営支援拡充
及び利用者負担軽減 1,000万円
(多子世帯の利用料軽減250万円含む)
- ・妊産婦医療費助成所得制限廃止
及び無償化 780万円
- ・早朝・延長保育利用料の一部無償化※
- ・病児病後児保育室利用料軽減※

※主に歳入に反映

予算額 4,910万円

②U・Iターン施策の拡充

- ・市民や企業と協力し、市内出身者や地方への移住希望者に当市の情報や魅力を積極的かつ効果的に発信するとともに、ずっとつながり続ける取り組みを進め、U・Iターンや関係人口の増加を目指します。
- ・子育て支援や住宅に関する支援、就職支援などを一体的に行うことで相乗効果を高め、世帯構成にかかわらず安心してU・Iターンしやすい環境を整備します。



■関連事業

- ・おぢや故郷BOX送付事業 600万円
- ・U・Iターン就職推進事業 1,272万円
- ・移住促進事業 653万円
- ・空き家利活用支援事業 500万円
- ・定住促進マイホーム取得補助 4,000万円

予算額 7,025万円

③中心市街地活性化の推進

・令和6年度の複合施設オープンを契機として、市民や企業とともに中心市街地の賑わいを創出し、その効果を市全体に波及させる方策を研究・検討します。



■関連事業

- ・市街地公衆無線LAN活用事業 289万円
- ・商店街店舗利活用状況調査事業 200万円
- ・テレワークステーションおぢや
進出企業定着支援事業 1,576万円
- ・市街地活性化調査研究事業 40万円

予算額 2,105万円

④錦鯉をフックにした産業の振興と地域活性化

・国の輸出重点品目に認定された錦鯉産業のさらなる振興のため、事業者や関係団体と連携し、産業基盤の強化や輸出額の拡大を目指します。
・「泳ぐ宝石」、「平和の象徴」と言われる国魚錦鯉をフックにして、米など農産物の販路拡大や観光誘客など幅広い産業振興を図るとともに、地域活性化につながる施策を調査・研究します。



■関連事業

- ・国魚錦鯉PR事業 248万円
- ・常盤橋プロモーション事業 1,216万円
- ・農産物販路開拓支援事業 40万円
- ・消費喚起・需要拡大支援事業 100万円
- ・錦鯉輸出拡大等調査研究事業 31万円

予算額 1,635万円

⑤山本山のさらなる魅力向上

・ひまわりによる景観形成に加え、市民の家おぢや〜やクラインガルテンふれあいの里などを含めて、山本山を訪れる人々の憩いの場としての魅力をPRします。
・市民や民間事業者との連携により、山本山の価値を高め、当市の活性化につなげる施策を調査・研究します。



■関連事業

- ・山本山景観形成事業 400万円
- ・山本山農用地維持管理事業 317万円
- ・クラインガルテン管理運営事業 1,814万円
- ・山本山活用調査研究事業 41万円

予算額 2,572万円